

質 問 書

2022年12月5日

「モンゴル国 ICT・デジタル産業及びスタートアップ振興情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2022年11月24日/公示番号:22a00719)について、以下のとおり質問いたします。

通番号	当該頁項目	質問	回答案(東アジア課)
1	P23. 2 業務実施上の条件 (2) 業務量目途と業務従事者構成案 1) 業務量の目途	本邦招へいに関する業務のうち、受入期間中業務0.57人月が提示されておりますが、国内業務のため0.57人月×20日/人月=11.4日となり、小数が発生いたします。実際に招へい業務を行う際には日数が整数になるかと思いますが、0.57人月のままでよろしいでしょうか。	ご指摘ありがとうございます。現在記載致しております0.57人月は、ご指摘の通り日数に割り戻した際に端数が発生します。案件管理実態を鑑み、0.60人月に変更いたします。関連のある変更箇所は以下2か所です。 【変更後】 P23 PP①には本邦招へいに関する業務 <u>2.45人月</u> を含む 受入準備業務 <u>1.85</u> 月、受入期間中業務 <u>0.60</u> 人月 P26 本邦招へい受け入れ期間中の報酬 <u>0.60</u> 人月分 招へい2回分。
2	P26. 4 見積書作成にかかる留意事項 (1) 別見積もりについて 5) その他	上記に関連致しまして、0.57人月分の業務従事者の人件費を報酬として別見積もり計上ということでよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。人件費を報酬として、別見積り計上をお願いいたします。なお、質問1の通り、0.6人月分の業務従事者の人件費を計上をお願い致します。

3	<p>P26. 4 見積書作成にかかる留意事項 (2) 定額計上について</p>	<p>定額計上経費で 33,150 千円と、大きな金額が本見積りに計上されますが、こちらを別見積りにしていただくことはできないでしょうか。P6 の価格評価の構造上、予定価格の 80%を見積価格とすると価格評価点が 100 点満点になるとおり、定額計上分が 100%で計上される以上、80%を目指すためには他の経費を大幅に削減することが必要になります。ご検討のほど、どうぞ宜しくお願い致します。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、再検討し、該当の定額計上部分合計 33,150 千円は、全て別見積とします。具体的には、以下を変更します。 【変更後】 P26 (1) 別見積もりについて 5) その他 (招へいについての記載の後に1項目を追加) <u>以下「(2)定額計上」に掲載する9項目全て(PP に関する特殊傭人・実証実験調査費、及び資料翻訳費、ビジコンマーケティング用写真・動画撮影及び編集、プロモーションツール作成費)</u> (2) 定額計上について 9項目すべてにつき、表の「区分」の欄を「定額」から「定額かつ別見積」に変更</p>
---	---	--	--

以上

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2022 年 12 月 9 日

「モンゴル国 ICT・デジタル産業及びスタートアップ振興情報収集・確認調査(QCBS) 」

(公示日:2022 年 11 月 24 日/調達管理番号:22a00719)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P12 【PP①】ICT・デジタル産業日モビ ジネスマッチング支援の検討及び 実施	本邦渡航するモンゴル企業は公募で集める必要があるのでしょ うか？あるいは、関係機関か らの推薦等あるのでしょうか？	渡航企業は関係機関等から推薦することを想定 しています。
2	P13 【PP④】ICT 領域専攻学生育成プ ログラムの検討及び実施	「1)参加企業選定」という記載がありますが「1) 参加学生選定」という理解で宜しいでしょうか？	ご指摘の通りです。該当箇所を「参加学生選定」 と修正します。
3	企画競争説明書 P17 第 2 章 第 9 条報告書等 (1) 2) インセプ ションレポート	2023 年 5 月に提出となっているが、3 月に案件 が開始してから 2~3 カ月の活動結果を踏まえ た内容のインセプションレポートを想定してい るのでしょうか。 活動が開始する前に提出するインセプションレ ポートであれば、2023 年 3 月頃に提出が妥当 のように思いますが、こういった想定になります でしょうか。	現地作業開始前までの活動結果を踏まえたレポ ートを想定しています。締め切りは 5 月としてい ますが、それより前にご提出いただいて構いま せん。
4	企画競争説明書 P12~14 第 2 章 第 7 条(5)【PP②】、【PP③】 【PP④】、【PP⑤】	PP②と PP④につきまして、広報資料の作成も 特殊傭人の業務に含まれるのでしょうか。また、 PP②~PP⑤全てにおいて、広報資料の作 成や広報実施は別途再委託など外注を想定し	PP②、③、④について、広報資料作成、広報実 施も、特殊傭人の業務の一部と想定していま す。PP⑤については、本業務従事者が担うこと を想定しています。

		てよいのでしょうか。	質問8の回答も併せてご参照ください。
5	企画競争説明書 P13 第 2 章 第 7 条(5)【PP③】 及び P14 第 2 章 第 7 条(5)【PP④】	PP③と PP④につきまして、本邦からメンターを 2 名ずつ招へいとありますが、招へい費用につきましては、別途計上するということによいのでしょうか。	メンターの招へい費用は一般業務費にて計上してください。
6	企画競争説明書 P13 第 2 章 第 7 条(5)【PP③】 及び P14 第 2 章 第 7 条(5)【PP⑤】	PP③と PP⑤のピッチイベントにつきまして、外部審査員の謝金は別途計上してよいのでしょうか。	PP③と⑤のピッチイベントにつきまして、現時点では外部審査員への謝金支払いは想定していませんが、審査員によって謝金をもとめられると想定される場合には、契約交渉時に確認します。
7	企画競争説明書 P10 第 2 章 7 条 (3)情報収集と初期仮設定	2) および 3)の他国分析対象について、それぞれ「原則第 2 章第 7 条(3)1 と同じ国を対象として他国分析を行う」との記載があります。これは「内国の市場規模と産業成長戦略の類似性」の基準に基づき 3つのテーマについて共通の 2 か国を選ぶ、と理解できます。一方、4) では、「第 2 章第 7 条 1」～3)に関し、....(中略)....各テーマに応じて、参考とすべき国を検討し、プロポーザルで提案すること。それぞれ 2 か国程度選定する」、とあります。これは 1)～3)の各テーマで共通のモンゴル以外の 2 か国を選定することを原則とするが、特別な理由があればテーマによって国を変えても構わない、という意味でしょうか。それとも、各テーマ「 1)ICT・デジタルの戦略策定」、「2)ICT／産業スタートアップ人材育	1)～3)共通で、モンゴル以外の 2 か国を選定することも可能ですし、テーマによって対象国をそれぞれ選出すことも可能です。いずれの場合も、各テーマに対して対象国を選定した理由を重視します。

		成」、「3) オープンデータのビジネス活用」について最も参考となる国を選ぶ方が優先されるのでしょうか。	
8	pp.12-14 (5)パイロットプロジェクト実施及び分析 【PP②】ICT・デジタル人材ジョブセミナーの検討及び実施 2) 【PP③】アクセラレーションプログラムの検討及び実施 4) 【PP④】ICT 領域先行学生育成プログラムの検討及び実施 4) 【PP⑤】オープンデータ活用事業検討プログラムの検討及び実施 4)	「モンゴル国内向けおよび日本国内向けに広報（SNS 発信用コンテンツの作成及びパンフレットの作成・印刷、和文・英語・モンゴル語の準備を想定）」とございますが、PP 広報準備にかかる経費は p.27 で国内再委託費に定額計上されている「プロモーションツール作成費」に含まれますでしょうか。それとも、「プロモーションツール作成費」は p.11 記載の「モンゴルの ICT・デジタル産業の海外展開を促進するためのプロモーションツールを作成する」のみの経費でしょうか。	失礼いたしました。 PP②、③、④に記載のある「印刷」の記載を削除します。 プロモーションツール作成費は p.11 記載の「モンゴルの ICT・デジタル産業の海外展開を促進するためのプロモーションツールを作成する」のみを想定しており、各 PP は SNS などのオンライン媒体での広報を想定しています。そのため、概要を示すポスター案を作成いただきたいのですが、印刷は本契約に含めません。 なお、PP 広報準備に係る経費についての考え方は以下です。 ・制作費用:コンサルタントまたは特殊備人人件費に含めます ・広報実施費用: 自社サイトへの掲載など費用発生しない手法にて広報します。

以上